

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教 員 氏 名	
高松 正毅 先生	おすすめメッセージ
① 図書名：NEXUS 情報の人類史 上 著 者：ユヴァル・ノア・ハラリ 出版社：河出書房新社 ISBN：9784309229430	まさに『サピエンス全史』を越える衝撃、強烈な知的興奮を約束する。とりわけ、想像を絶するレベルで無辜の民の殺戮を繰り返した魔女狩りやロシアのスターリン政権下の血の粛清、後者に関連して疑似科学であるルイセンコ学説等々は圧巻。ハラリは、一神教や絶対主義において自己修正メカニズムが働かないのは、神（聖典）や指導者の「不可謬性（infallibility）」にあるとする（第四章）。不可謬である以上、そこに議論は生じ得ないわけだ。手元に置くなら文庫になるのを待つのも良いが、今ここで読もう。 （本書は上下巻で構成され、下巻も所蔵あり。）
② 図書名：ゼロから始める 無敵のレポート・論文術 著 者：尾崎俊介 出版社：講談社 ISBN：9784065386033	これまですべての類書に目を通してきた評者（論文指導が専門）が保証する出色の一冊。たとえば、論文書き出しのノウハウとして「話してみなさい」とアドバイスする（pp.4-6, pp.127-129.）。何より、学生が書いた卒業論文が面白い。研究テーマは、アフーマティブアクション、バスケットボール、セサミストリート、田園墓地、コカ・コーラ、ラクロス、ホームスクール、ゲーテッド・コミュニティ、肥満……。中でも、バービー人形では大笑いした。 ただ、「笑いどころ」や「突っ込みどころ」が一般的な意味とは異なるので注意。
③ 図書名：本を読めなくなった人たち -コスパとテキストメディアをめぐる現在形 著 者：稲田豊史 出版社：中央公論新社 ISBN：9784121508614	2026年7月2日、著者には本学でご講演いただいた。わかりみと面白み、消費者と読者など、その分析がたいへん鋭く興味深い。 効率至上主義を信奉しコスパやタイパを何より重視する人たちは、感覚的瞬発的で短期的な見返りや成果のみを追求し、過程における楽しみや充足感については一顧だにしようとししない。評者は死ぬまで本を読むことをやめるつもりはないが、本を読もうとしない学生諸君に今後どのように対処すべきかについて真剣に悩んでいる。